学校番号	1015

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	(学)多文化理解	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界の文化、日本の文化について学習します。さまざまな地域の文化について調べ日本との比較をしたり、日本の中での文化の違いを学びます。衣食住だけではなく、まつりや宗教、芸術など多岐にわたります。
また世界で起きている対立だけではなく日本のなかでも起こりうる文化の衝突について一緒に考えていきます。共生社会をどのように築いていくのか、異なる文化とどう協調をしていくのかというテーマで授業を展開していきます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
歴史のなかで文化が育まれ、地域による差がることそれを理解し、楽しめる教養を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
グローバルな視点で自分の生活と世界のかかわりを意識する。
【学びに向かう力、人間性等】
宗教などの文化の衝突など世界で起きている時事に関心をもつ。異文化に興味関心をもち、共生社会を築いていく一員としての自覚を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の諸地域、日本国内の地域で育まれた文化を地理的条件や歴史的背景をもとに理解している。	さまざまな資料や図版を活用しながらその国や地域の文化の特徴について比較しながら考察することができる。また社会問題（宗教の対立など）においても地理的条件などから説明することができる。	異なる文化を中心にまなぶことで他者とのちがいを理解し、対立が起きた場合に自分ではどうするかを考え、共生社会を築いていく一員として自覚し、さまざまな社会問題を主体的に考え、解決しようとする姿勢をもっている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	世界の文化と日本	1　芸術や食生活など	a:世界諸地域の文化について理解し、世界遺産などの教養を身につけている。 b:文化が育まれた背景を地理的条件や歴史的背景を踏まえながら考察することができる。 c:さまざまな建築物・食文化について歴史的背景などを関連させながら発表することができる。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 発表
		2　宗教や思想	a:世界諸地域の宗教や思想についての基本的な考えを理解している。 b:さまざまな宗教や思想を比較し、その地域に住む人々の生活などにどう影響を与えているのかを考察することができる。 c:歴史的事象とも関連させながら、地域の特徴について発表することができる。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 発表
2学期	日本の文化	1　日本の伝統文化	a:祭りや食文化などを日本の伝統行事などについて理解している。 b:行事であっても地域による差があることを調べ、考察することができる。またその要因を追究することができる。 c:地理的環境などによる地域差を積極的に調べ、発表することができる。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 発表

		2　日本の文化と民族	a:沖縄・アイヌだけではなく多くの外国ルーツがある人たちが生活をしていること(ex 群馬県太田市）を理解する b:文化の共生が図られている地域を調べ、地域の特徴などを考察することができる。 c:現在、自分自身が住んでいる環境を考え、共生社会を実現していくためにはどうすべきか考え、意見を言える。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 発表
3学期	文化の衝突	1　世界で起きている時事問題	a:文化の衝突が１つの要因で起きている世界の問題を理解している。 b:パレスチナ問題など歴史的背景をもとに説明することができる。 c:遠い国・地域の問題ではなく、自分たちごととしてこれらの問題を意識できるか。日本にも対立は起こりうることを自覚し、共生社会の一員としてどのように対応するのかを考え発表できる。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度